

第25回 地域ダイバーシティin横浜 開催報告

項目		内容
開催テーマ		介護と仕事の両立
開催日		平成30年2月27日
報告団体名		株式会社 横浜銀行
参加企業	企業団体数	6団体
	参加人数	25名
開催内容	タイトル	講演テーマ「認知症の理解と対応～介護と仕事の両立」 健康福祉局高齢健康福祉部高齢在宅支援課 担当係長 山本 倫子氏
	具体的内容	<p>1. 認知症を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者は年々増加している ・認知症は単なる老化ではない。また、誰もがなる可能性がある脳の病気。 ・早期診断・早期治療により、進行を止められる可能性や、進行を予測でき介護負担を軽減できる <p>2. 認知症の人との接し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「驚かせない」「否定しない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」 ・失敗を責めず、笑顔と理解で見守る ・本人が得意なことに目を向ける <p>3. 認知症の人を介護する家族の気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とまどい・否定」→「混乱・怒り・拒絶」→「割り切り」→「受容」 ・同じ立場の人と話がしたい、職場の理解が得たい→周囲の理解が大切 <p>4. 仕事と介護の両立のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両立している人の働き方:労働時間調整 32.8%、休暇を取得 37.8% ・両立するのに効果があると思う支援:介護関連制度の充実、制度を利用しやすい職場づくり、経済的支援 ・ひとりで抱え込まない:職場の制度利用、介護保険等のサービス利用、地域の活動利用 <p>【グループ討議】</p> <p>「(遠方に住む両親)父:要介護認定2、母:介護疲れがあるが、他人の世話にはなりたくない。あなたならどうするか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の介護疲れも心配なので、早めにケアプラザ等へ相談するよう話し合う ・介護サービスに関する情報収集を行う ・見守りサービスのある家電等の購入を検討する ・両親を自宅近くに呼び寄せる <p>☆ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な選択肢があり、答えはない。両親にとってどのような選択が良いのか話し合うこと。
	当日写真	
感想・気づいた点		・グループ討議では、介護経験者を中心に話し合っていた印象。若い世代は、今回初めて介護について考えたという方が多いようだった。